

中河内支部養護教育指導技術研修会

大阪府養護教育研究会の中河内支部主催の指導技術研修会が9月5日（火）の2時30分より開催されました。これは、養護学級担任者を対象に毎年実施されているもので、今年度は柏原市立国分小学校の体育館で行われました。大阪府立佐野養護学校の辻内俊哉先生が講師として来てくださり、「肢体不自由児にかかわらずダウン症や自閉症児にもできる身体活動について」という内容で講演されました。話の内容は以下の通りです。

- 障害のある子にできる身体活動について
- 子ども達にとっての身体活動（スポーツ・運動・あそび等）の意義について
- 子ども達の体を育む5つの視点について
 - 1) できることをたっぷりとくぐらせる
 - 2) 「わかる」ことを大切にする
 - 3) 「できる」につながる力（基礎的運動能力）を育む
 - 1 姿勢を制御する力
 - 2 スピード、リズムをコントロールする力
 - 3 物や人の動きに対する予測判断する力
 - 4) 「やりとり」を大切にする
 - 5) 「日常生活」に戻ってこそ身体活動は意義がある

お話の後、遊具を使った遊びのビデオを見て、教師参加の実技指導がありました。内容は

- 1) キャスターボードを使って
 - ・ 一人で寝ころんで動く
 - ・ 一人で座って動く
 - ・ 二人組では寝た人の足を持って動く
- 2) ボール入れゲーム
 - ・ かごをかついで動く かごの中にボールを入れる
 - ・ かごに入れる途中で阻止する人を置く



など、楽しいゲームが次々と紹介されました。

学期はじめの忙しい時でしたが、70名近くの先生方が汗をかきながら次々とゲームをこなしておられ、2時間という時間があっという間にすぎてしまい、とても楽しい研修会を行うことができました。

（文責 東大阪市立枚岡西小学校 深堀）